三重混声合唱団 あんだぁれ70

三重混声合唱団あんだぁれ７０通信
２０２１年度　Ｎｏ.２　秋冬号
発行：三重混声合唱団あんだぁれ７０
編集：広報担当　（平井澄、田中、小泉）
２０２２年２月発行
ホームページ　https://andare70.jp

創立１０周年を迎えるあんだぁれ７０

２０２１年度も新型コロナ禍に振り回され、活動中止、リモートレッスンなど経験しましたが、只では転ばないあんだぁれはそれらも糧にして練習再開し、５月の創立１０周年記念演奏会に向けてワンステージメンバー募集もしました。その矢先、またもやオミクロンなる変異株の猛威が世界を襲っています。

あんだぁれ１０周年万歳！！

新しい合唱団を起ち上げ、創立から関わらせていただく・・いったいどんな音がするのか、どんな音楽が創れるのか、大きな期待とほんの少しの不安も抱えながら、2012 年４月まさにワクワクドキドキのスタートでした。

70 名が揃って産声をあげたときの感動は今も耳に残っています。
素晴らしいハーモニー！というよりは爆発的なエネルギーのかたまり！！だったと記憶しています(笑)

これまでの演奏で印象に残っているのは、「二度とない人生だから」「山に祈る」「フィンランディア」「東京物語」「威風堂々」「ハレルヤ」・・等。活動も TV 出演、日野原重明先生との共演、三重オペラ協会「カルメン」、オペラ「おしち」、２度の海外演奏、等々10 年の間にモリモリの行事を熟してきました。好奇心旺盛、なんでも面白がって飛びついてみる！その結果、予想もしなかった満足度と達成感を味わい、また次の目標に向かって頑張る・・
私自身たくさんの幸せと心の潤いをいただきました。

１１年目を迎えるにあたり、あんだぁれ５ヶ条を書き留めてみます。
①心身の健康を維持する
②出席率をあげる　ひとりひとりの重みは同じ
③メリハリのある、真剣且つ楽しい練習をめざす
④ピュアであること　奏でる詩や音楽に感動できる感性を磨く
⑤耳を養う　自分の声、他人の声を聴く　ハーモニー（調和）がいのち

2013.1.25　あんだぁれ初舞台前日のリハーサルで男声のピンクジャケット初披露

歌うことが許されない時世に遭遇してもあんだぁれは前に進みましょう！！

音楽監督・指揮　馬場浩子

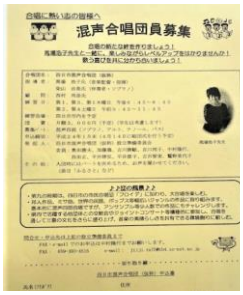
結団式の行われたあの日からもう１０年です。私は育児で１１年間ソロで歌うことを休んでいた後の音楽活動復帰の年となったため、新しい合唱団での歌える時間が楽しかったことは良い思い出となっています。コンサートでは新品のピンクの衣装で全員が舞台に立ち、明るく華やかな「前に進む！」という雰囲気がとても良かったのを覚えています。１０周年以降も、聴いて下さる方々の心に響く合唱を、楽しく歌い続けていきたいです。　ミュージックコーチ　勝野明子

10 年経っても、愛知県から練習に通うのは、毎週の楽しみです。それは、音楽を純粋に愛する皆さんと一緒に音楽ができるから。これまで、演奏会、団内コンテスト、鑑賞ツアー、様々ご一緒させていただきました。コロナ禍になり、不安を持ちながらも、音楽を求める気持ちを改めて感じた方も多いのではないでしょうか。まだまだ厳しい状況は続きますが、歌の力で、体を、心を、そして世界を元気にしていきましょう。　ミュージックコーチ　倉本亜紗

設立準備委員会立ち上げ～合唱団創立時を振り返って～

この１０年、我が団は単独演奏会、合同演奏会、海外演奏旅行、四日市市合唱祭、オペラ合唱隊、クラシック音楽祭、TV 出演等々多彩な活動を続けています。

遡る事十数年前、馬場先生が「四日市の第九」の合唱指導されておられました。本番までの約４か月指導を受けるのですが先生の指導が素晴らしく、馬場先生指揮の新しい合唱団を作って年間を通して指導を受けたいとの思いが第九仲間から湧き上がって来ました。この声を背景に当時先生の指導を受けていた男声カルテット「アンサンブル　グランパ」メンバーの加藤、山川、中村、平井が、多忙な先生に無理にお願いし、合唱団設立に向けてスタートしました。



設立準備委員１０人は全員当時の「四日市の第九」メンバーで構成し約８か月、馬場先生にも加わっていただき７回の会合を持ちました。団のめざすところ、ありたい姿、団員募集、練習方法、活動内容、組織、規約作成など骨格が 2012 年４月 14 日の団発足日に整い、音楽監督・指揮者の馬場浩子先生のもと団員 68 名でスタートしました。団名は最初「四日市混声合唱団」として案内していましたが、ある合唱団の別名として使われていることが判明し、設立準備委員で話し合った結果、「三重混声合唱団・あんだぁれ７０」としました。アンダーレはイタリア語の andare で「行く、前に進む」の意味です。その心は、「１歩１歩着実に前進する」「馬場先生とピアニスト、団員で 70 名の合唱団」「７はラッキーセブン、馬場先生の誕生月」なのです。遊び心から「あんだぁれ」とひらがな表記にしました。

馬場先生の目指す“遊び心を持った大人の合唱団”は今も脈打っていると思います。ますます磨きをかけて前に進みたいものです。

前代表　平井晴弘

会計係はやがて一年。創団時会計係のＳ鷲野さん、次にＡ川合さん、昨年迄のＳ水野さん、また、演奏会会計に携わった方々に感謝します。過去の資料を基に、副団長の木村さんの尽力で、一昨年、文化庁助成金を貰えたことを誇りに思います。今、合唱が出来るは奇跡！先生、伴奏者、コーチ、創団時役員、全ての団員に感謝！　　ソプラノ　伊藤奈津子

この年で新しい事を始めても良いのかなと思いつつ、合唱団「あんだあれ 70」に参加させていただきました。練習が楽しくて CD や楽譜の山を見ると、沢山の楽曲に挑戦したのが分かります。ウィーン国立歌劇場、サンピエトロ大聖堂等すごい体験もさせていただきました。夢中で走り抜けた 60 代でした。10 周年記念演奏会が恙なく楽しく迎えられますように。　アルト　廣田町子

コロナ禍中、感染防止対応に、工夫と調整を加えて、対面練習の日程が続けられていることに、監督・コーチ・役員の方々に、敬意と感謝をおぼえます。この先は、体調維持に努め、音取り、たて合わせ、他パートとの聴き合い、互いの声や息づかいを感じながら練習に努め、当日来聴者の心に響く演奏をめざします。　　テノール　服部八州宏

2011 年、第九の予備講習で馬場先生に出会い、その人柄と指導力に惹かれました。その後、先生が音楽監督・指揮で新しく合唱団を立ち上げる事を知り、オーディションを受け、入団しました。思い出は、ウィーン歌劇場での演奏、また、イタリア・バチカン・アッシジ演奏。津リージョンのオペラ、カルメン。単独では、「山に祈る」など。合唱でまた別の人生が開けた気持ちです。

バス　清水　節生

三重混声合唱団あんだぁれ７０　１０年の歩み　～あんなこと　こんなこと～

2012.4.14　結団式と初練習（四日市市海蔵地区市民センター）

2013.1.26　夢のジョイントコンサート「出会い」（津リージョンプラザ）
3.16　夢のジョイントコンサート「出会い」（四日市市文化会館第１Ｈ）

2014.5.24　単独演奏会「はじめの一歩」～さあ歩き出そう　そよ風に乗って Let’s jump up!（四文第２Ｈ）

2015.4.25 夢のジョイントコンサート PARTⅡ「ふたたび」（四文２Ｈ）
.5.30 夢のジョイントコンサート PARTⅡ「ふたたび」（津リージョン）

2014.9.25 日野原先生講演会で合唱

2014.12.4 ＣＴＹのミュージックＪＪに出演

2015.2.20 はもりあフェスタオープニング

2016.7.18 創立５周年記念演奏会　（四文第２Ｈ）石若雅弥氏をお招きして

2016.8.19～8.25　ウィーン演奏旅行有志参加（ウィーン国立歌劇場、シュテファン大聖堂）

2016.9.22　クラシック音楽祭 2016 みえに出演（四文第２Ｈ）

2017.9.24　クラシック音楽祭 2017 みえに出演（四文第２Ｈ）

2017.12.3　うたのわ大音楽会（四文第１Ｈ）

2018.10.27　三重オペラ協会オペラ「カルメン」に合唱隊出演（津リージョン）

2019.1.13　歌のトライアングル～歌って広げよう心の和と輪～（津リージョン）

2019.6.2 単独演奏会「新しい時代の始まりに」～歌にのせて祈る～（四文第２Ｈ）

2019.8.23～8.30　イタリア・バチカン演奏旅行に有志参加（システィーナ礼拝堂、サン・ピエトロ大聖堂、アッシジのサン・フランチェスコ大聖堂）

2020.5.1　歌のトライアングル　パートⅡ（四文第２Ｈ）（新型コロナ禍で中止）

2021.2.10　オペラ「おしち」に有志出演（四文第１Ｈ）

毎年　アンサンブルコンテスト

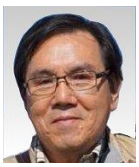
2021.4.10　三団体交流会（四文第２Ｈ）

他合唱団演奏会
鑑賞ツアー

四日市市合唱祭出演

2021.7.29
夏フェスタ

創立１０周年記念演奏会に向けて



三重混声合唱団あんだぁれ７０代表　　神田憲明

５月に私達の合唱団は創立１０周年記念演奏会を開催します。コロナ感染状況の中での開催ですが成功することを心から祈っています。

今回の演奏会のサブタイトル『**10 年の軌跡～郷愁・祈り・そして希望あふれる未来へ～**』は団員から募集した内容を投票で選びまとめたサブタイトルです。これまでになく団員各位の気持ちがこもったものになり、10 年の月日の重さを感じます。

第４ステージでは、創立５周年記念演奏会にお世話になった石若先生を客演指揮者としてお迎えして、先生が作曲された『ひとつの歌にも』を合唱します。この合唱には、新しい試みとして自由公募した『ワンステージメンバー』２０名の方々も加わり新たなステージ構成となります。新鮮な合唱になりそうで楽しみです。また、石若先生が編曲された「邦画の主題歌による【合唱はつらいよ】」では、石若先生も参加されて合唱する第３ステージもあり、どのような演出になるかを期待しています。石若先生にこの 5 年間の私達の成長を見て頂けるよう頑張りましょう。

あんだぁれ７０が誕生した２０１２年から１０年。多くの団員に支えられ合唱団として技術的に上達できたのは、音楽監督である馬場浩子先生のご指導のおかげと感謝しております。この演奏会が、１０年の歩みの集大成として観客の皆さんに感動を与えることができれば最高です。私たちも悔いのないパフォーマンスを発揮し、また合唱のすばらしさを団員ひとりひとりが満喫しましょう。ワンステージメンバーの方々との新しい出会いに期待しています。この創立１０周年記念演奏会があんだぁれ７０の歴史に刻まれる演奏会になるよう頑張りましょう。

ﾜﾝｽﾃｰｼﾞ ﾒﾝﾊﾞｰと初練習

2022.5.15　　創立１０周年記念演奏会　曲目

Ⅰ中山晋平　合唱による大人のための童謡曲集より	Ⅱ祈りをテーマに	石若雅弥先生と共に	ワンステージメンバーと共に
♪雨降りお月さん～雲のかげ ♪黄金虫 ♪砂山 ♪しゃぼん玉 ♪鞠と殿様	♪J,S バッハと C,グノーの Ave Maria ♪L,ルッツィの Ave Maria ♪ピアノ演奏　歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》間奏曲 ♪Ave verum Corpus K618 ♪Hallelujah	Ⅲ邦楽の主題歌による「合唱はつらいよ」 ♪お嫁においで ♪涙そうそう ♪嵐を呼ぶ男 ♪セーラー服と機関銃 ♪少年時代 ♪男はつらいよ	Ⅳ混声合唱とピアノのための「ひとつの歌にも」より ♪風のマーチ ♪歌のように ♪すてきなひとりぼっち ♪ひとつの歌にも 石若先生の指揮で

今後の予定

2022.5.15　10 周年記念演奏会　10 年の軌跡～郷愁・祈り・そして希望あふれる未来へ～
2022.11.23（水、祝）　四日市市合唱祭　　2022.12.25　四日市の第九演奏会

団員の動向（2021.4.1 以降）　　2022.2.1 現在の団員数　６１名　うち休団中　８名

【入団】S井上絹子、T古田良幸、T渡邊良治　　【復団】井上俊也
【休団中】S市野育恵、S緒方悦子、S夏目昌子、S鷲野美代子、A加藤千景、T柴田孝之、B西田正、B氷見幸也（団友）
【退団】S川北奈津希、S中村ふゆ美、A花井初美、A牧野千枝子、T新井元治、B大矢知徳昌、B伊藤勝

【編集後記】団創立からもう１０年？まだ１０年？いろいろな経験をさせて頂きました。今回は創立当初からの方々のご協力を得て編集しました。これから今ここにいる皆で新しい軌跡を描いて行きたいです。（平井）

しんどかった時期にあんだあれに出合い、元気を頂きました。あれから 10 年近く、真面目にそして楽しく歌えることに感謝しています。上を目指して、一緒に前に進んでいきましょう。よろしくお願いします。（田中）

寄せられた数々の原稿や資料を通して、あんだぁれ７０の１０年の軌跡がパノラマのように浮かび上がってきます。パンデミックという未曽有の逆風を乗り越え、明日への希望に満ちた記念演奏会が無事に開催されることを心から願っています。（小泉）